

修 得 単 位 の 目 安

1年生の修了時・・・・・・・・	40単位
2年生の修了時・・・・・・・・	76単位
3年生の修了時・・・・・・・・	106単位
卒業単位数・・・・・・・・	124単位

授業科目について

1 . 学 科 共 通 科 目 群

学科共通科目群は、同（基礎科目群）、同（フィールド学習科目群）、同（コア科目群）の3系列に分かれている。それらの各系列のうちから所定の単位を修得しなければならない。

(1) 学科共通科目群（基礎科目群）

英語によるコミュニケーション能力、情報リテラシー能力の養成と、円滑に学生生活に入るための基礎知識・技法を身につけるために科目群である。

(2) 学科共通科目群（フィールド学習科目群）

地域・社会・文化の実際、福祉分野の経営活動などを体験的に学ぶことにより、実践力を向上させるための科目群である。

(3) 学科共通科目群（コア科目群）

専門教育を受けるために必要な素養を身につけるための科目群である。

2 . 専 門 科 目 群

専門科目群は、「社会福祉士」「精神保健福祉士」「介護福祉士」の国家試験受験資格および「保育士」の国家資格を取得するために必要な科目と、それ以外の専門科目およびゼミナールから成っている。

特に、国家資格、国家試験受験資格の取得については、厳正な履修条件があるので、オリエンテーションにおいて詳細な資料に基づいて説明を行う。

国家資格、国家試験受験資格取得に必要な科目以外の専門科目は、福祉の問題についてより幅広く、より深く学ぶための科目であり、自らのキャリア目標に従って、アドバイザーと相談しながら適切な科目を選択する。

ゼミナールは、学生各自がテーマを持って研究する科目であり、指導教員の下で、大学における学習のまとめをする必修科目である。

3 . 自 由 科 目 群

(1) 自由科目とは卒業に必要な単位数に加算されないが、自由に選択履修することのできる授業科目である。

(2) 福祉総合学科においては、自由科目として教職課程の科目が準備されている。

中学校教諭一種免許状	社 会
高等学校教諭一種免許状	福 祉・公 民
幼稚園教諭一種免許	

社会福祉士国家試験受験資格について

1. 社会福祉士とは？

社会福祉士は、社会福祉専門職の国家資格であり、社会福祉士及び介護福祉士法によって「専門的知識および、技術をもって、身体上もしくは精神上的の障害があること、または環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行なうことを業とする者」（同法第二条）と定義されている。

社会福祉士が働く職域と職種は、各種社会福祉施設の指導員・生活支援員・相談員・相談機関の相談員・公的機関（児童相談所や福祉事務所のケースワーカーなど）、社会福祉協議会のコミュニティ・ワーカーやボランティア・コーディネーター、介護保険事業のケア・マネージャーなど多岐にわたる。

2. 社会福祉士をめざすには？

社会福祉士の資格を取得するためには、本学で国家試験の受験資格を得た後、年に1回実施される国家試験を受験し、合格しなければならない。国家試験の受験資格を得るためには、本学で厚生労働省の指定科目を全て取得する必要がある。

社会福祉士国家試験の合格率は約30%という難関であるが、1年次から自分自身のライフスタイルに応じた計画的・効率的な学習を継続することで、合格の可能性も高くなる。

本学では、社会福祉士をめざす人達を支援する福祉教育センターが設置されており、積極的に活用して頂きたい。

指定科目の履修については、原則的に開講年次に単位修得する必要がある。

社会福祉士国家試験受験資格 指定科目

厚生労働省による法令指定科目	本学開設科目			備考	
	科目名	科目名	単位 履修年次		
人体の構造と機能及び疾病 [*] 心理学理論と心理的支援 [*] 社会理論と社会システム [*] 現代社会と福祉 社会調査の基礎	医学知識 心理学 社会学 現代社会と福祉（職業指導を含む） 社会調査	2 2 2 4 2	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	*受験資格としては、 法令指定科目 ~ のうち1科目以上選 択必修	
相談援助の基盤と専門職 相談援助の理論と方法 相談援助の理論と方法	相談援助の基礎と専門職 ソーシャルワーク論 ソーシャルワーク論	4 4 4	1・2 2・3 2・3		
地域福祉の理論と方法 福祉行財政と福祉計画 福祉サービスの組織と経営	地域福祉論 福祉の財政と計画 福祉経営論	4 2 2	1・2 1・2 2・3		
社会保障 高齢者に対する支援と介護保険制度 障害者に対する支援と障害者自立支 援制度 児童や家庭に対する支援と児童・家庭 福祉制度 低所得者に対する支援と生活保護制 度 保健医療サービス 就労支援サービス ^{**} 権利擁護と成年後見制度 ^{**} 更生保護制度 ^{**}	社会保障論 高齢者福祉論 障がい者福祉論 子ども家庭福祉論 生活保護論 医療福祉 就労支援 権利擁護論 司法福祉	4 2 4 4 2 2 1 2 1	2・3 1・2 1・2 2 2・3 2・3 2・3 2・3 2・3		**受験資格として は、法令指定科目 ~ のうち1科目以 上選択必修
相談援助演習 相談援助演習 相談援助演習 21相談援助実習 22相談援助実習指導 22相談援助実習指導	ソーシャルワークの基礎 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク基礎実習指導 ソーシャルワーク実習指導	1 2 2 6 1 2	1 2 3 2 1 2		

福祉総合学科の学生は卒業時に、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司、社会福祉主事、児童指導員の
各資格を取得できる。ただし、それらは社会福祉士の資格と異なり、専門機関・施設で担当職員として任
命された後
に有効となる任用資格である。

精神保健福祉士国家試験受験資格について

1．精神保健福祉士とは？

精神保健福祉士は、1997年に誕生した精神保健領域のソーシャルワーカーの国家資格である。

精神保健福祉士は、精神障害者の保健および福祉に関する専門的知識・技術を用いて、精神障害者の社会復帰に関する相談援助を行う者であり、資格取得後の職域には、精神科医療機関、社会復帰施設、作業所、グループホーム、保健所や精神保健センター、救護施設、厚生施設、ハローワーク、福祉事務所などの相談窓口からセンターなどの多くの場面での活躍が期待される。

2．精神保健福祉士を目指すには？

精神保健福祉士の資格を取得するには、本学で国家試験の受験資格を得た後に、年に1回実施される国家試験を受験し、合格しなければならない。国家試験受験資格を得るためには、福祉総合学科「福祉心理コース」にある実習を含めた「労働厚生省の指定する科目」を全て修得しなければならない。

精神保健福祉士国家試験の受験については、1年次より計画的に継続することが望ましい。また、社会福祉応用研究および社会福祉専門研究や別に設けられる受験対策講座などを積極的に活用することが合格への近道となる。

指定科目の履修については、原則的に開講年次に単位修得する必要がある。

精神保健福祉士指定科目について
(福祉総合学科 福祉心理コース)

厚生労働省による法令指定科目		本学開設科目			備考
科目名	単位	科目名	単位	履修年次	
1 人体の構造と機能及び疾病*		医学知識*	2	1・2	
2 心理学理論と心理的支援*		心理学*	2	1・2	
3 社会理論と社会システム*		社会学*	2	1・2	
4 現代社会と福祉*		現代社会と福祉(職業指導を含む)*	4	1・2	
5 地域福祉の理論と方法*		地域福祉論*	4	1・2	
6 福祉行財政と福祉計画*		福祉の財政と計画*	2	1・2	
7 社会保障*		社会保障論*	4	2・3	
8 低所得者に対する支援と生活保護制度*		生活保護論*	2	2・3	
9 保健医療サービス*		医療福祉*	2	2・3	
10 権利擁護と成年後見制度*		権利擁護論*	2	2・3	
11 障害者に対する支援と障害者自立支援制度*		障がい者福祉論	4	1・2	
12 精神疾患とその治療	4	精神医学	2	1・2	
		精神医学	2	2・3	
13 精神保健の課題と支援	4	精神保健学	2	2・3	
		精神保健学	2	2・3	
14 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	2	相談援助の基礎と専門職	4	1・2	
15 精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2	精神保健福祉援助技術総論	4	1・2	
16 精神保健福祉の理論と相談援助の展開	8	精神科リハビリテーション学	4	2・3	
		精神保健福祉援助技術各論	4	2	
	4	精神保健福祉制度論	4	2	
17 精神保健福祉に関する制度とサービス	2	精神保健福祉論	2	2	
	2	ソーシャルワーク演習	2	3	
18 精神障害者の生活支援システム	4	精神保健福祉援助演習	2	3	
19 精神保健福祉援助演習(基礎)		精神保健福祉援助演習	2	4	
20 精神保健福祉援助演習(専門)	6	精神保健福祉援助実習指導	1	2	
		精神保健福祉援助実習指導	5	3	
21 精神保健福祉援助実習指導	7	精神保健福祉援助実習	4	3	
		精神保健福祉援助実習	3	3	
22 精神保健福祉援助実習					

1～11の*印を付した科目は社会福祉士指定科目と共通した科目である。

保育士国家資格について

(福祉総合学科 子ども福祉コース)

1. 保育士とは？

保育士とは、一般に保育所などの児童福祉施設において子どもの保育を行う者であり、平成15年11月の改正児童福祉法施行により国家資格となった。児童福祉法において「都道府県知事の登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」と定義されている。

保育士が働く職域とは、働く親達の子どもの預かり保育する公立や民間の保育所をはじめ、児童養護施設、知的障害児施設などの児童福祉施設における児童指導員、また、デパート、公共施設などの一時的に子どもを預かる施設、企業内保育所などがある。

2. 保育士を目指すには？

本学の福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コースは、指定保育士養成施設である。本学子ども福祉コースで、厚生労働省の指定した科目を全て単位取得すると、卒業と同時に保育士国家資格を取得することが出来る。

本学の子ども福祉コースの目的は、本学の建学の理念のもとに、指定保育士養成施設における専門的な学術研究を通して、国内及び国際社会において子どもの健全な保育に貢献する人材を養成することである。

子ども福祉コースの履修を希望するものは、入学年度の授業開始までに、子ども福祉コース登録届を提出しなければならない。

子ども福祉コースへの編入・転入は認められない。

保育士の国家資格に係る厚生労働省指定科目は別表のとおりである。全て取得しなければ保育士の国家資格は取得出来ないので、留意すること。

保育実習の諸手続きや詳細は、保育実習説明会において説明する。

指定保育士養成施設に関する科目 (福祉総合学科 子ども福祉コース)

系列	科目名	単位	配当年次	備 考	
教養科目	情報メディア演習	2	1	「情報メディア演習」	
	Fundamentals of English	2	1	「Fundamentals of English」	
	生涯スポーツ概論	2	2	「生涯スポーツ概論」	
	スポーツ科学	2	1	「スポーツ科学」	
	ジェンダーと福祉社会	2	1・2	を含み10単位以上選択必修	
	サステイナブル社会論	2	1・2		
	Oral English for Children	2	1		
必修科目	保育の 関する 本質・目的 に 関する 科目	現代社会と福祉(職業指導を含む)	4	1	
		相談援助演習	2	2	
		子ども家庭福祉論	4	1	
		保育原理	2	2	
		社会的養護	2	2	
		幼児教育原理	2	1	
		教職入門	2	1	
	理解 保育の 対象の 科目	保育の心理学	2	1	
		保育の心理学	1	2	
		子どもの保健	4	2	
		子どもの保健	1	2	
		子どもの食と栄養	2	2	
		家族援助論	2	3	
	保育の 内容・方法 に 関する 科目	保育教育課程論	2	2	
		保育内容総論	1	2	
		保育内容演習(健康)	1	2	
		保育内容演習(人間関係)	1	2	
		保育内容演習(環境・言葉)	2	3	
		保育内容演習(表現)	1	3	
		乳児保育	2	2	
	障がい児保育	2	2		
	社会的養護内容	1	2		
	表現 技術	保育の表現技術(音楽)	2	2	
		保育の表現技術(造形)	1	2	
		保育の表現技術(体育)	1	2	
	保育 実習	保育実習指導	1	2	
		保育実習指導	1	3	
		保育実習	2	2	
		保育実習	2	3	
	総合 演習	保育・教育実践演習	2	4	
	関 する 目的 の 理解 に 関する 科目	福祉文化論	2	1・2	
		地域福祉論	4	1・2	
社会学		2	1・2		
教育社会学		2	1		
関 する 理解 に 関する 科目	障がい者福祉論	4	1・2	15単位以上選択必修	
	心理学	2	1・2		
	臨床心理学	2	1		
	子どもの発達と相談	2	3・4		
関 する 方法 の 理解 に 関する 科目	地域ボランティア論	2	1・2		
	地域ボランティア研修	2	1		
	保育内容指導法	2	2		
	幼児国語	2	3		
表現 技術	幼児造形	2	3・4		
	幼児体育	2	3・4		
	音楽入門	2	1		
	音楽演習	2	3・4		
実 習	保育実習指導	1	4	必修	
	保育実習	2	3	いずれか選択	
	保育実習	2	3		

介護福祉士国家資格について

(福祉総合学科 介護福祉コース)

1. 介護福祉士とは？

介護福祉士は、高齢者や障害者の福祉を図るため、福祉施設等や居宅における介護サービスや居宅における介護サービスを行う社会福祉専門職の国家資格であり、「専門的知識及び技術を持って、身体上又は精神上的の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者」と定義されている。

介護福祉士が働く職域は、介護保険施設など各種社会福祉施設の介護員・生活支援員・相談員・居宅介護サービス事業所の訪問介護員、病院の介護員など多岐にわたり、各分野で専門技術に基づく支援や指導を行う。2007年の法改正により、その業務内容が「心身の状況に応じた介護」とされ、明確化が図られた。

2. 介護福祉士をめざすには

本学の福祉総合学部福祉総合学科介護福祉コースは、介護福祉士指定養成施設である。本学介護福祉コースで、厚生労働省の指定した科目を全て単位取得すると、卒業と同時に介護福祉士国家試験受験資格を取得することができる。

また、2014年入学生(2017年卒業予定者)からは、卒業と同時に5年間の期限付きの介護福祉士国家資格を取得することができる。ただし、以下の条件のいずれかを満たせば引き続き介護福祉士国家資格を保持できる。

- a) 卒後5年以内に国家試験に合格
- b) 原則卒後5年間連続して実務に従事

本学の介護福祉コースの目的は、本学の建学の理念のもとに、介護福祉士指定養成施設として専門的な学習・研究を通して、理念と技術を体得し、地域の介護に貢献するとともに、国内外を通じて介護の分野でリーダーとなり得る人材を育成することである。

介護福祉コースの履修を希望するものは、入学年度の授業開始までに、介護福祉コース登録届を提出しなければならない。

介護福祉コースへの編入・転入は認められない。

介護福祉士の国家資格に係る厚生労働省指定科目は別表のとおりである。全て取得しなければ介護福祉士の国家資格(国家試験受験資格)は取得出来ないので、留意すること。

介護実習の諸手続きや詳細は、介護実習説明会において説明する。

介護福祉士指定科目について

（福祉総合学科 介護福祉コース）

指定科目等 科目名	本学開設科目			備考
	科目名	単位	履修年次	
人間の尊厳と自立	人間学	2	1・2	
社会の理解	社会の理解	4	1・2	
人間と社会に関する選択	現代社会と福祉法制度 生活と文化 社会学 社会調査 リーダーシップ論 生命科学	2 2 2 2 2 2	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	*この中から4科目を選択すること
介護の基本	リハビリテーション論 介護とリスクマネジメント レクリエーション活動援助法 介護概論 介護概論	2 2 2 2 2	3 2・3 2 1・2 2	
人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	2	1・2	
コミュニケーション技術	コミュニケーション技法 コミュニケーション技法	4 1	2・3 2・3	
生活支援技術	生活支援技術 生活支援技術 生活支援技術 生活支援技術 生活支援技術	3 2 2 2 3	1 2・3 2・3 2・3 2・3	
介護過程	介護過程 介護過程 介護過程	2 2 1	1 2・3 2・3	
介護総合演習	介護総合演習 介護総合演習 介護総合演習 介護総合演習	1 1 1 1	1 2 3 4	
介護実習	介護実習 介護実習 介護実習	2 4 4	1 2 3	
発達と老化の理解	発達と老化の理解	4	2・3	
認知症の理解	認知症の理解 認知症の理解	2 2	1・2 2・3	
障害者の理解	障がい者福祉論	4	1・2	
こころとからだのしくみ	医学概論 こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ	4 2 2	1・2 2・3 2・3	
医療的ケア 2012年度入学生のみ	医療的ケア 医療的ケア	2 1	3 3	

Global College 科目群

Josai Global College では、学生のみなさんが学びたい科目を英語で学ぶことができます。また、本学の学生は誰でも好きな科目を履修することが可能です。Josai Global College は、日本に居ながら英語で多様な知識と教養を身につけることができる、革新的な学びの場を提供します。

城西国際大学は、その名にふさわしく、あらゆる学生に国際的な環境を提供しています。学生は日本だけではなく、本学の提携大学があるカナダ、中国、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、韓国、ハンガリー、ノルウェー、ポーランド、スペイン、アメリカなど、世界中から集まっています。このような国際的な環境の中で、学習者は互いに高め合い、国際感覚を身につけることができるようになっていきます。

また、本学ではクラスの中だけではなく、クラスの外でも教員と学生が日常的に交流しながら学ぶという、大変親しみやすい環境を作り上げています。Josai Global College もその例外ではありません。多様な国々の人たちと研究・教育活動をともにすることで視野を広め、国際的なバランス感覚を養うことができます。

東京紀尾井町キャンパス開講科目を受講する学生を対象に東金キャンパスから特別に往復のシャトルバスを運行、安房キャンパスへはサテライト配信をしますので観光学部の学生も履修可能です。

2015 年度開講科目

科目名	開講 キャンパス	科目名	開講 キャンパス
Introduction to Japanese Literature	紀尾井町	Modernism in Architecture	紀尾井町
Japanese Literature in Translation a	紀尾井町	The Cityscape Worldwide	紀尾井町
Japanese Literature in Translation b	紀尾井町	Business and Society	紀尾井町
Modern American Literature	紀尾井町	Global Logistics	紀尾井町
Japanese Art and Literature	東金	International Finance	紀尾井町
Samurai Tradition in Edo Culture	紀尾井町	International Marketing	紀尾井町
Haiku in the World	紀尾井町	Introduction to Database Theory	紀尾井町
Kamishibai as a Medium of Entertainment, Education, and Propaganda	紀尾井町	Introduction to Global Management	紀尾井町
Japanese Art & Museum Management	紀尾井町	Strategic Management	紀尾井町
Tradition in Contemporary Japan	紀尾井町	Introduction to Tourism	安房
Theory of Acculturation: Minorities in Japan	東金	International Tourism Special Session	安房
Japan and Asia	紀尾井町	Asia Tourism Studies	安房
ASEAN and Japan a	紀尾井町	Methodologies of Cultural Observation: Travel and Dialogue	紀尾井町
ASEAN and Japan b	紀尾井町	Introduction to Social and Environmental Studies	東金
ASEAN and Japan c	紀尾井町	Ecology Policy	東金
Europe and Japan a	紀尾井町	Environmental Issues & Technology	紀尾井町
Europe and Japan b	東金	Introduction to Health Science	東金
Europe and Japan c	紀尾井町	Safety of Food and Environmental Chemicals	東金
European Art a	紀尾井町	Japanese to English Translation	紀尾井町
European Art b	紀尾井町	International Administration I (Fundamentals of Management)	紀尾井町
European Art c	紀尾井町	International Administration II (International Understanding)	紀尾井町
Cinema Studies	紀尾井町	International Administration III (Fundamentals of Thesis Writing)	紀尾井町
Japanese Film and Visual Art	紀尾井町	International Administration IV (Social Research, Design, Evaluation)	紀尾井町
Japan-U.S. Film Comparative Research	紀尾井町	Policy Studies V (NGO/NPO Policy)	紀尾井町
Representations of France in Films	紀尾井町	International Studies I (International Organizations)	紀尾井町
Representations of Paris in Films	紀尾井町	International Studies VI (International Economics)	紀尾井町
Film Industry in Hollywood	紀尾井町	Corporate Studies IV (Corporate Governance)	紀尾井町
Reading Comics in English	紀尾井町	Tourism III (Hospitality Management)	紀尾井町
Animation	紀尾井町	Tourism (International Development Policy)	紀尾井町
Sound Design	紀尾井町	Case Studies V (Development of Tourism Sites)	紀尾井町
World Civilization	紀尾井町	Japanese-English Translation I: Culture	紀尾井町
Globalization and Multiculturalism	紀尾井町	English Language Structure Analysis	紀尾井町
Gender and Culture	紀尾井町	Foundations of English Language Teaching	紀尾井町
Gender and Language	紀尾井町	Curriculum and Materials Design I	紀尾井町
Women in Asia	東金	Curriculum and Materials Design II	紀尾井町

リベラルアーツ&サイエンス科目群

リベラルアーツ&サイエンス(LAS)センターは、本学の建学の精神に基づく人格形成、幅広い教養や知識の習得、専門分野での学業に役立つ問題意識の育成、社会人として求められる基礎能力の向上等を主たる目標として掲げています。

学生の皆さんにも、こうした問題意識をもって科目履修をしてもらうために、学部・学科ですでに開講している科目を“人格形成領域”“一般教養領域”“基礎能力領域”という3領域に大きく分けて整理し直し、「リベラルアーツ&サイエンス科目群」として特別に提示しています。各々の領域は、

人格形成領域：「地球と環境」「人間と思想」「国家と規範」「倫理と社会」
「社会とジェンダー」という5テーマ

一般教養領域：「人類のあゆみ」「文化のかたち」「社会と経済」「健康と福祉」
という4テーマ

基礎能力領域：「非言語分野」「言語分野」「ビジネスマナー」「プレゼンテーション」
という4テーマ

に分けてまとめてあります。いずれも、学生の皆さんが就職して社会へ出る準備をするうえで重要とされるテーマです。

これらに加えて、LASセンターが特に力を入れたい分野・テーマについては独自の科目として開講し、さらに必要に応じて開講するサマースクール等も「総合基礎教養 ~ 」として単位認定します。LASセンターが独自に開講するこれらの科目は、すべて1~4年次のいずれかで履修することができます。

「リベラルアーツ&サイエンス科目群」を履修して修得した単位は、30単位を限度として申請により、学部・学科の各科目群に振り替えることができます。「リベラルアーツ&サイエンス科目群」の履修や内容についての質問、学業に係わる相談等は、LASセンターにて随時受け付けています。